

臭活の終活

小川 義博

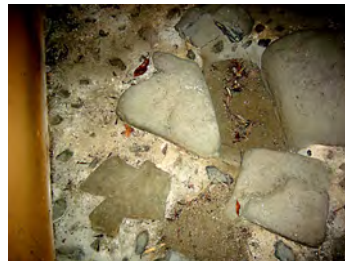
私には切手の他に興味を持つものがある。40年程前、まだ和式便器が主流の頃、仕事上、障害児にやさしいトイレを考えていて、なんとトイレ、厠について知識、資料を持たないことを痛感させられた。そこで、厠の資料を臭集しだした。そのうち、資料を自宅の厠のカレンダー用に利用することを始めた。うんちく厠カレンダーと称して身近な方に使用をお願いし、ひんしゆく厠カレンダーと評されながら20年近く続けてきた。受け取りを渋る方もいれば、年末に催促くださる方も増え、切手収活よりも臭活が主になってしまった。しかし、体調も考慮しこの臭活を終了することにした。多くの稲フィラ会員にご迷惑をおかけしたお詫びと、永年、励まし、資料収集に協力していただいたことに感謝、臭活の内輪話とその終活内容をお伝えしたく、キーボードに向かった。

められていて多くの資料を得られた。そのうち、新刊本も多く発行されるようになった。特に、衛生陶器メーカーの出版した書籍には興味深い本が多く見られた。TOTO、INAXの出版書籍である。これら厠関係の新刊本等を集めてくれた書店を見つけ、そこで洋書も手に入れられ、知識が大きく広がった。京橋にあったINAXのショールーム内の書店である。いつの間にか我が厠の書棚は香り高い書籍で埋まっていった。このように文字情報から知識を膨らませてたことが厠カレンダーの製作になり、カレンダーに必要な印刷に耐える視覚情報の収集に力が入る結果となり、友人、知人、そして稲フィラの皆様に厚かましくも協力をお願いすることになった。

視覚情報の写真を厠の名所を巡って撮ることが始まった。目黒の雅叙園、横浜三溪園、川越本丸御殿、有名ホテル等をめぐった。それでも変質者的外観、何度か質問をされることもあった。京都の思い出は忘れられないこと



松琴亭の待合所の外腰掛



外腰掛の脇の砂雪隠

が多い。桂離宮を訪れた時、付き添いの衛視の目を盗み、松琴亭の待合所の外腰掛脇の砂雪隠の木戸のかけ金具を外して、雪隠内部を撮影したことである。石組みにあった枯れ葉が風情を増していた様に感じた。

別の京都行、京都博物館の蒔絵展で偶然ベルサイユ博物館に

残る豪華なトイレボックスを目にした時、その香が呼んでくれたかという思いであった。その折り、東福寺の東司を撮り、たまたま東寺の骨董市に遭遇。そこで美しき染付便器発見（朝顔）、配送料込みで約10万円。これをぜひ厠オタクの我が玄関の傘立てにという強い思いが

チャンバーポット

厠という部屋を持たなかったヨーロッパ、オスマンにあるチャンバーポットを使用した。身分によってチャンバーの質、置き場所は異なるが、塵芥として破棄することは共通。非衛生的な生活環境になった。そこに、パセーム、マントが生まれたといわれる。肥料として野菜等と交換したり、貨幣価値を持たせた我が国とは異なる。

一般的にはベッド下にチャンバーを置いていた。そして専用の糞子から洋式便器へと変化した。

2013年 5月

日 月 火 水 木 金 土

ひんしゆくカレンダーの一例

厠関係の資料収集はやはり書籍から始まった。40年前、今のようにトイレが話題になることは少なく厠を研究する人も少なかった。国学院大学李家正文教授の書籍が一般書の草分け的存在で、その後多くの書籍に引用されている。神保町を散策しては、探したが多くは見つからず苦労した。そのうち、すずらん通りの三省堂の向かいに小さなキントト書房なる古書店に巡り合った。横歩きでないと動けない狭い店内には他の店では見向きもされないような書籍が集

生じた。同伴していた妻の拒絶反応がなければ今頃、来訪者のヒンシュクを買っていただろう。今でもこれには未練が残る。染付には思い出がもう一つある。美しき染付便器の万華鏡に始まる美しい便器の展覧会である。常滑市にあるINAXのタイル博物館の特別展の展示である。日頃は日陰者が美しく、所狭しと飾られ、輝いていた光景は忘れられない。



未練が残る類似品

自分の写真だけではとても十分でないので、書籍、TV、インターネットから見つけていった。ある程度廁の知識を持っていると見過ごしてしまう場面に廁関係の事柄を見つけられる。シェークスピア時代の映画で階上から黄金色の液体が降り注ぐ場面がある。ほんの一瞬である。これは、「頭上に注意！！」の声とともにおまる（チャンバーポット）を空にしているのである。

また、アガサ・クリスティ作、20世紀初頭に活躍するベルギー南部フランス語圏（ワロン地方）出身エルキュール・ポアロの映画にポ



映画「恋に落ちたシェイクスピア」の一画面
通りを歩くと頭上から・・・頭上に注意！・・・



名探偵ポアロ「ヒッコリーロードの画面」
起床後 洗面台とビデを間違えたか・・・

アロの自宅に宿泊した英国人相棒が朝、ビデで洗顔する画面が数秒流れる。ビデは英国では一般的なものでなかったことを教えてくれる。このようにTVを見ていると、なんとなく廁が放送されるのを感じ、録画セットをして、画面キャプチャーしてるから不思議である。更に最近、新しい製品、話題性のある便器、トイレなどを知る上で、ネット検索は欠かせないが、数時間で消されるちょっと危ないサイトに紛れ込んでしまう危険を感じている。

このように資料収集に苦労している中、励みになったのが、友人知人からの情報、資料の提供である。稲フィラにも援助いただいた方が多く、マダガスカル、ウェールズ、トルコ等のトイレ画像を、小林、池山、宮鍋会員等からいただいた。故人となった野球の市川会員の思い出も強い。ドイツアウトバーンでの広告付き便器の情報をいただき、明治村への稲フィラ旅行の折には勝手知ったる地元、隠れた廁を案内いただいた。稲フィラ29号18Pの明治村に残る幸田露伴の旧宅「蝸牛庵」の廁写真にその思い出を元気な姿に映した。また、稲フィラ26号に切手を愛した「一鉄鋼マンの軌跡」を執筆された故田中会員。編集のやり取りのMAILの中で廁カレンダーをいただいもらえることになり、お送りした。そのカレンダーを資料に奥様が横浜外人クラブで話題提供して非常に好評を得て高い評価をいただいたお礼に、良き香を放つ高級菓子折をいただき恐縮したありがたき経験もした。

切手を交換してきた海外の友人からの資料も貴重であった。Amazon.com UKの検索では引っかけられない英国地方出版社に廁のようなテーマの出版物が多く発行されていることを知り、改めて英国の文化



度を考えさせられた。

反対もある、日本でペットの落とし物の扱いが問題になっていた頃、dropping という単語が多く記された手紙が届いた。語学力の無さ、この意味が正に鳥獣の落とし物であることに気がつくのに時間を要した。街路のペッ

Amazon.com UKになく、友人送付英国地方出版本



道端に置かれたペット用
汚物収納袋提供ポスト



「良い飼い主で幸せ」と
書かれたペット用
汚物収納袋

トの落し物対策に悩んで、日本ではどうしているかという問いかけであった。こちらの飼い主の責任による解決策を伝えても理解を得ることはできず、当時、街角に見られた標語の書かれたプレートの写真を送る必要があった。パリあたりではペットクリーナーを装備したオートバイを巡回せねばならないほど落し物状況がひどいとは知っていたが、オーストリアも同じ状況かと驚かされた。その頃、フランス在住の姪から上のような写真が送られてきた。行政サービスがここまで必要な社会の存在を再認識した。

10年程前、自分のように表面的で軽薄な興味で厠に向かっているのではなく、真剣に後進国の環境衛生問題、災害時の排泄物処理、エコトイレ等を考えている方々の存在を知り、参加する機会を持った。早大探検部OBが活動している日本トイレ協会と日本下水文化研究会という団体である。講演会への参加、機関誌の購読等であった。そんな中でトイレを持たない人々が30億人も劣悪な衛生環境での生活を強いられ、大理石の豪華な地下鉄でもトイレを設置しない国、汲み取り式の次が水洗式で浄化槽の技術を持ち合わせないで衛生環境が改善しない国々、

乾燥地域に水洗式を普及する先進国を知ることが出来た。また、低開発国の都市部のスラムで下水の普及に尽力している方、排泄物の有効活用を研究する糞土師の方の活躍を見聞するにつけ、自己嫌悪的気分になってきた。

その頃から、足回りが自由でなくなっ



日本下水文化研究会誌

たこともあり、切手収集と同じく終了としようかと考えていた。最後の今年のひんしゆく暦を手にしたこれら会の方から、この暦は資料として



週刊文春

トイレ探検隊員証

ユニークなので使用後も保存しているという話をいただいた。更に、週刊文春で始まった連載記事に情報の一部を提供したら、下記のようなトイレ探検隊員に任じられた。しかも隊員番号があこがれの48である。

ブタもおだてりゃ木に登るの例え、我がPC・HDに溜っていた資料を汲み取り、まとめてもいいのではと考えてしまった。暦部分を除き、編集し直し200ページを自宅で印刷、製本してみたが気に入らず、印刷屋に持ち込んでしまい、販売を考えない自費出版？してしまった。

この出版過程で2つのことを勉強した。1つは印刷費用より、編集費用が馬鹿にならないことである。この点、稲フィラの編集幹事をさせていただき多少編集作業を憶えたことで助かった。高画質PDF Fileだけを印刷屋に持ち込めたことである。2つ目は、こんなに値段が違っていいものかと呆れるぐらい業者によって異なったことだ。ネットで10社程度当たったが、出来はわからぬが3倍以上も費用が異なっていた。

あと残った終活は、これも切手と同じ、集めた資料の扱いである。300冊近い良き香を放つ書籍と約3000になっているDATABASE化してある電子画像Fileである。これは前述したどちらかの団体に取捨選択いただき、処分をお願いできそうである。



自費出版本「厠うんちく暦臭 流れ消えた香と歳月」
気がかりは国会図書館の書庫で周囲の本から
ひんしゆくを買っていないかということ